

ステージ

シアターコクーン豪華4本立て!

黴菌

作・演出:ケラリーノ・サンドロヴィッチ

4月20日(水) 午後5:00

HV

KERAの昭和三部作第2弾!豪華キャストが繰り広げる複雑怪奇な密室群像劇!



©谷古宇正彦

奇才・ケラリーノ・サンドロヴィッチが放つ「昭和三部作」の第2弾!2010年12月に行われた公演の様をお届けする。

前作「東京月光魔曲」では、昭和初期の東京という街を俯瞰でとらえ、江戸川乱歩や谷崎潤一郎を想起させる怪しく淫靡な世界観を描き出したが、本作の舞台は、敗戦直後の昭和20年、東京郊外に建つミステリアスな洋館。そこに住む五斜池家の人々と運命の糸にたぐり寄せられた人々が織りなす複雑怪奇な密室群像劇。

出演は、北村一輝、仲村トオル、ともさかりえ、岡田義徳、犬山イヌコ、みのすけ、小松和重、池谷のぶえ、長谷川博己、緒川たまき、山崎 一、高橋恵子、生瀬勝久ら、各界で活躍する豪華キャストたち。常に進化し続けるKERAの最新作をお見逃しなく!

<ストーリー>

昭和20年3月下旬。日露戦争の軍需景気で財を成した五斜池家は、東京郊外の広大な敷地に屋敷を構えていた。その洋館は繰り返された不自然な増築のため、初めて来た者が帰り途を見失うほど、複雑な構造になっている。長男・藤吉郎(山崎一)が院長を務める脳病院が隣接していることも、この屋敷がどこか奇妙な影を湛えている理由のひとつかも知れない。五斜池の一族である住人は6人。藤吉郎とフサ(高橋恵子)の夫婦には息子・銀一郎(長谷川博己)がいる。妻に先立たれた次男・定夫(生瀬勝

久)は軍の要人の影武者をしている。遊び人の四男・京(北村一輝)はフラフラ歩いては散財を繰り返す。離れには兄弟の父・鉄次郎が病床に伏しているが、世話をしているのは妾である渋澤オト(緒川たまき)で、息子たちは部屋に寄りつこうともしない。

彼らの世話をするのはメイドの山本(池谷のぶえ)と、脳病院の元患者である使用人の別府(小松和重)の二人。その別府を訪ねるため病院から脱走を繰り返す患者・権田(みのすけ)や、五斜池家が経営する工場で働くオトの兄・洋平(仲村トオル)、藤吉郎の「恩人」として一家の世話になることになった調雄吉(岡田義徳)・園子(犬山イヌコ)夫婦、京と洋平に連れられて来た佐野雪絵(ともさかりえ)、定夫の雇い主である軍関係者・菊竹(生瀬勝久)と小林(みのすけ)など、その大きさに相応しく、五斜池の屋敷は次々と訳ありげな人物を呼び込み、飲み込んで行く。

錯綜する幾つもの思惑とエゴ。運命の不思議なめぐり。葛藤の狭間で激しく揺れながらも、人々はささやかな「幸福」を探さずにはいられない。そして――。

収録日/2010年12月22日

収録場所/東京 Bunkamuraシアターコクーン

スタッフ・キャスト/作・演出:ケラリーノ・サンドロヴィッチ

出演:北村一輝、仲村トオル、ともさかりえ、岡田義徳、犬山イヌコ、みのすけ、小松和重、池谷のぶえ、長谷川博己、緒川たまき、山崎 一、高橋恵子、生瀬勝久

関連番組/シアターコクーン豪華4本立て!

4月6日(水)スタート 毎週水曜午後5:00 HV

東京を代表する文化度の高い劇場Bunkamuraシアターコクーンから、豪華キャストが出演し、30代から60代までの各世代を代表する気鋭演出家とその才能を注ぎ込んだ舞台作品を4週連続で放送!東京商業演劇の文化的クオリティの高さを堪能できる4作品をお届けする。

ラインナップ/	シダの群れ 岩松了×阿部サダヲ×風間杜夫	4月6日(水)	午後5:00
	タンゴ-TANGO- 長塚圭史×森山未來	4月13日(水)	午後5:00
	黴菌 作・演出:ケラリーノ・サンドロヴィッチ	4月20日(水)	午後5:00
	十二夜 串田和美×松たか子	4月27日(水)	午後5:00

●新規・追加登録の方はこちら→<https://prgnews.wowow.co.jp/>

☆番組写真・資料のお問い合わせ先 → TEL 03-4330-8155 FAX 03-4330-8156 (番組情報チーム 佐藤・秋友・大沢・成田)
☆一般の方向け ご加入・番組に関するお問い合わせ先 → TEL 0120-580-807 (WOWOWカスタマーセンター/年中無休9~20時)

公式ホームページ → wowow.co.jp

*都合により、番組タイトル、内容、放送日時を変更する場合があります